登録室ご紹介

福岡県

福岡県保健環境研究所

福岡県がん登録室のスタッフ

Fukuoka

福岡県について

九州の北に位置する福岡県は、九州と本州を結ぶ交通の要衝を占めています。福岡県には、2つの政令指定都市を含む60市町村（平成24年4月1日現在）が存在し、地理的、歴史的、経済的特性などから、「北九州」「福岡」「筑後」「筑豊」の4地域に分けられています。面積は約4,986平方キロメートル、人口は約510万人（平成27年10月）です。九州・沖縄に占める面積の割合は約1割強ほどですが、人口ではその約3割を占めています。

県内13の二次医療圏域には、県がん診療連携拠点病院2か所、地域がん診療連携拠点病院13か所、地域がん診療病院（国指定）2か所、がん診療拠点病院（福岡県指定）2か所（平成28年4月現在）が存在し、九州各県、特に隣接する佐賀県、大分県、熊本県からの受療も多くあります。

福岡県のがん登録事業について

本県は、地域がん登録事業を平成23年8月に開始し、2011年診断症例から（拠点病院は2009年診断症例から）登録を行っています。実施主体は福岡県（健康増進課）とし、登録実務・集計及び分析は、福岡県保健環境研究所内に設置された「福岡県がん登録室」が担っています。

福岡県がん登録室の紹介

福岡県がん登録室は、平成24年から標準登録様式・標準データベースシステムを導入し、平成27年からは全国がん登録データベースシステムへの移行を行いました。

登録室の人員体制は、登録室医師1名、実務担当者1名（臨床検査技師）、登録実務担当者4名（非常勤職員）であり、日々登録業務を行っています。

これまで県内医療機関等からの受領した届出は、登録開始から平成27年12月までの累計で、183,212件となりました。年間の届出件数は年に2,000～3,000件程度増加しており、平成27年は、約43,000件となっています。

現状と課題

本県では、平成27年に「全国がん罹患モニタリング集計2012年罹患数・率報告」へのデータ提出を行いました。本県にとって初めてのデータ提出でしたが、登録精度は、DCNが21.1%、DCOが20.3%、I/Mが2.39となり、県間比較可能な精度基準Bを達成したことで、ひとつのハードルをクリアできたものと考えています。

また、今年は、全国がん登録の開始という大きな節目を迎えることとなりました。これを受け、平成27年中に県内医療機関の皆様への説明会を実施しました。この中で頂いたご意見・ご質問を踏まえ、Q&Aや届出マニュアル解説をホームページ上で公開することで、がん登録届出の障壁を少しでも取り除けるよう努めています。

今後は、初めて届出を行う医療機関等の増加が予想されるため、がん登録の意義や届出作成の方法等について、医療機関の皆様に向けた更なる情報発信を行い、がん情報の質的精度向上につなげていくことが必要と考えています。

最後に

本県のがん登録事業は、まだまだ歴史が浅く、数値を導くまでの苦労も多くありましたが、県民へのがん対策の一助として活用に向けた新たなステージに歩んでいかなければならないと、思いを新たにしています。今後も国立がん研究センターをはじめ、がん登録に携わる皆様のご指導ご鞭撻を賜ることと思いますが、よろしくお願い致します。